学校番号	２０１

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　政治・経済　（第一学習社）						
副教材等	最新政治経済資料集　２０２６　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校においては全員必修の公共を学習したうえで、さらにその内容を深め大学受験やその先の就職活動、そして社会の一員として活躍するうえで必須となる政治や経済分野の内容について取り扱います。本校では特に経済分野に力を入れて取り組みます。
公共同様授業では教科書・資料集を活用するとともに、何度かプレゼンテーションやレポート提出課題を行い、いわゆる定期考査とともに評価します。これはいわゆる筆記試験としての政治経済だけではなく、小論文その他の文章作成能力の向上を意図しているものです。AI に代替される仕事も増えると予想されますが、「ほかの人に対して思いを伝える」ことはどれだけ AI が発達しても代替不可能です。だからこそあなたがあらゆる社会問題に対してどのような姿勢で望み、どう思考するのか、そのためにはどのような知識が必要なのか、それをどう理解していくのか、そして何より「自ら学び取る」ことができるのかを評価します。「学校で学んでおいてよかった」と将来思ってもらえるような授業を展開していきます。さあ、一緒に政治経済について考え学びましょう。

2　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断できる。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1編現代日本の政治・経済の諸課	第１節　日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係	a: ・政治や政治権力の意味とその役割について社会契約説に基づいて十分理解している。 **・法の意義と機能について身近な例を踏まえて十分理解している。** b: ・国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することがなぜ大切なのか，具体的な例をあげて自分の考えを説明している。 ・法によって社会がどのように秩序立てられているか，具体的な例をあげながら自分の考えを説明している。 c: ・日本国憲法の成立過程や規定されている国民の権利や義務を十分に理解したうえで，よりよい社会がどのように形成されるのか，主体的にそのあり方を見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

	第1章　現代日本の政治・経済	⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ「現代政治のあり方」	a: ・直接民主制と間接民主制のしくみと，それぞれの長所と短所を具体的に理解している。 ・議院内閣制や大統領制のみならず，権力集中制など各国の政治体制が，どのような点で「民主的」といえるのか，具体的に指摘している。 ・国会・内閣・裁判所の地位と構成について十分に理解している。 b: ・どのような体制が国会の活性化を生み出すのか，現在の課題の解決をめざすにはどうすればよいのか，具体的な案を検討しながら，主体的にそのあり方を見出そうとしている。 ・日本の行政機構がどのように変遷してきたのかについて理解し，その変遷してきた理由と，現代の社会を踏まえ，よりよい行政機構のあり方を主体的に見出そうとしている。 ・刑事裁判と民事裁判のしくみとその違いや，違憲審査の意義について十分に理解している。 c: ・私たちの生活に司法がどのようにかかわっているのか，仕事や訴訟，裁判員としてなど，さまざまなかかわり方を主体的に見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

		第２節　望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」	・地方自治の本旨や日本の地方自治制度について十分に理解し，諸資料からさまざまな課題を発見することができている。 ・地方自治における住民の権利や住民運動について，主体的に地域づくりに関わるためにみずから考察したことをまとめ，十分に説明している。 ・みずからの暮らす地域が直面する課題を的確に把握し，解決のための新しいアイデアを十分に提案している。 ・政党の意義と役割について十分に理解している。 ・選挙の原則や日本の選挙制度について十分に理解している。 ・世論が政治に与える影響を十分に理解している。 ・日本の選挙制度の現状と課題を十分に考察し，複数の事例を用いて説明している。 ・メディア・リテラシーの重要性を十分理解し，民主主義のあり方を多面的・多角的に説明している。 ・日本のかかえる課題を知り，解決のための考えを十分にまとめ，主権者として能動的に行動しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備
		第３節　市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題	・資本主義の特質とその変容について，歴史的過程も踏まえて十分に理解している。 ・自分自身の生活と経済循環との関りを具体的に説明している。 ・望ましい企業のあり方や，企業との関わり方について，自分	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

		■諸課題へのアプローチ「外部不経済の内部化の方法」 第４節　持続可能な財政および租税のあり方 ①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」	の考えを説明している。 ・インフレとデフレ，景気変動のしくみや影響について十分に理解している。 ・市場の失敗の事例を踏まえて，公害や消費者問題に対する施策について，さまざまな取り組みを主体的に見出そうとしている。 ・資料の読み取りなどを通して，外部経済の内部化のしくみや，その具体的な方法，課題を十分に理解している。 ・財政がどのような機能を有しているかについて，十分に理解している。 ・国の予算の歳出・歳入のしくみや財政の課題について，十分に理解している。 ・公平な税制とは何かについて多面的・多角的に考察し，十分に説明している。 ・持続可能な財政のあり方について，多面的・多角的に考察し，十分に説明している。 ・財政の役割や国の予算の歳出・歳入のしくみをもとに，持続可能な財政のあり方について，さまざまな意見を踏まえたうえで主体的に見出そうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題 ・レポート内容	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題 ・レポート内容	・振り返り ・レポート準備及び提出

2		第５節　金融を通した経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ「資金の流れと起業における資金調達のあり方」	a: 金融のしくみと，金融機関の果たす役割について，十分に理解している。 ・中央銀行がおこなう金融政策の方法や，経済への影響について，十分に理解している。 b: ・あるべき金融サービスの姿について，現代の金融がかかえる課題を踏まえて，十分に説明している。 c: ・金融のしくみと金融政策，現代の金融を取り巻く課題について，複数のことがらを主体的に見出している。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題 ・レポート内容	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題 ・レポート内容	・振り返り ・レポート準備及び提出
		第６節　経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ「格差の理由とその対策」	・戦後の日本経済の大まかな流れと，産業構造の変化を理解している。 ・中小企業問題と農業問題を比較して，戦後の日本経済の流れと関連させながら，政策の変遷や現状などについて，十分に説明している。 ・労働を取り巻く環境がどのように変化しているか，戦後の日本経済の流れと関連させながら理解し，具体的な事例をあげながら説明している。 ・日本の社会保障制度の４つの柱について，それぞれ具体的な事例を十分に理解している。 ・日本の年金制度の課題について，十分に理解している。 ・今後の社会保障制度はどのようなあり方が望ましいか，課題を踏まえた上で，政治経済の観点から主体的に考察している。 ・今日の日本経済がかかえる「格差」などの課題について，その具体例を新聞などから自分で見つ	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

			け出し，その解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。			
		第２章　現代日本の諸課題の探究 [下記より１つを選択し、レポート作成及び発表活動を行う] 1 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 2 地域社会の自立と政府 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4 産業構造の変化と起業 5 歳入・歳出両面での財政健全化 6 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 7 防災と安全・安心な社会の実現	・選んだ課題に応じて、先に学んだその分野における評価規準のレベルを満たしたレポートを作成できている。 ・発表活動において資料を明示し活用することができた上で、その資料をどのように志向判断し活用したのかがめいかくとなっている。 ・主体的にレポートを作成し、レポート内容から将来の課題や展望を考察することができている。	・小テスト ・オンライン課題	・小テスト ・考察内容 ・発表内容 ・オンライン課題	・レポート準備及び提出 ・振り返り ・発表準備

	第2編　グローバル化する国際社会の諸課題　第1章　現代の国際政治・経済	第１節　国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」	a:　・国際紛争や人権問題などについて，諸事例を踏まえて，複数の具体例をあげながら十分に説明している。 b:　・国際法の種類や特徴，各種の国際裁判のしくみについて，十分に理解している。 c:　・国際的な人権保障の取り組みについて，十分に理解している。 ・今日の国際機構や地域統合の動向について，さまざまな資料を調べたうえで，その現状と課題について主体的に追究している。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備
		第２節　国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」	・日本国憲法の平和主義と防衛政策との関連について，十分に理解している。 ・日本の安全保障について，国際情勢と関連させて十分に理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備
		第３節　相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」	・貿易の意義やその経済効果について，歴史的経緯を含めて十分に理解している。 貿易による利益やその効果によってどのように経済を発展させることができるか，各国の事例をあげながら自分の考えを説明している。 ・グローバル化する企業の公正・公平なあり方について，主体的に見出そうとしている。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて理解し	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

			ている。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて理解している。 ・国際経済におけるさまざまな課題をみずからの問題としてとらえた上で，論理的かつ現実的な解決策を考え，他者と話しあいながら探究している。			
		第４節　国際経済において求められる日本の役割 ①国際経済における日本の地位と国際協力 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の安定と成長に向けた日本の役割」	・日本の産業および貿易の特質を理解し，国際経済における日本の地位を十分に理解している。また，その実態をグラフや表から十分に読み取ることができる。 ・発展途上国がかかえる課題を理解した上で，日本の発展途上国に対する支援の方法について多面的・多角的に考察し，自分の言葉で説明している。 ・国際経済における課題をみずからの問題としてとらえた上で，今後の国際経済における日本の役割について，他者と話しあいながら探究している。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備
3	第2章　国際社会の諸課題の探究	［１つを選択してレポートを作成］ 1　グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 2　地球環境と資源・エネルギー問題 3　国際経済格差の是正と国際協力 4　イノベーションと成長市場 5　人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取り組み 6　持続可能な国際社会づくり	a: ・選んだ課題に応じて、先に学んだその分野における評価規準のレベルを満たしたレポートを作成できている。 b: ・主体的にレポートを作成し、レポート内容から将来の課題や展望を考察することができている。 c: ・希望する卒業後の進路や仕事において本課題のテーマがどのようにかかわるのか、どのような点で必要になるのかを考察してまとめることができている。	・オンライン課題	・考察内容 ・オンライン課題	・レポート準備及び提出 ・振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度